

ミッション

NPO法人Explat（「Expert」+「Platform」エクスプラット）は
舞台芸術制作者を中心とした芸術に関わる専門人材が、
自らの仕事に誇りを持ち、心身ともに健康で、生涯の仕事として続けられる労働環境の
実現に寄与することを目的とし、
専門人材への研修機会の提供、労働環境の整備のための活動・事業を行います。

これらの活動を通じ、芸術を社会とつなぐ専門人材の社会的認知度とその役割の重要性を広く普及啓発することで、芸術活動全体の活性化を図り、文化芸術の進展と社会全体の利益の増進に寄与することを目的とします。

Explat

Explatが取り組む課題

舞台芸術のアートマネジメント専門職は、「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律（劇場法）」や「文化芸術の振興に関する基本的な方針（第4次基本方針）」でその必要性と養成が謳われ、アートマネジメントを掲げる大学や学部も増加するなど、文化芸術を支える仕事として認知されつつあります。

しかし・・・

Explat

現在の諸課題

- ・人材募集が経験者優遇（即戦力重視）で新卒者、未経験者の募集が少ない
- ・公立劇場の人材募集が欠員補充中心で、募集時期が前年度の秋以降
- ・指定管理者制度に起因する公立劇場人材募集の非正規雇用（有期契約）化
- ・非正規雇用者の改正労働法による 5 年未満の雇い止めの可能性
- ・転職市場が未整備
- ・社会的に専門性の認識が低く、専門的資格制度がない
- ・就労者のスキルアップが、OJT 中心で専門的な研修機会等が少ない
- ・将来的なキャリア形成が見通せない（＝30 代の前後で辞める）
- ・給与水準が低く、「やりがい搾取（©本田由紀）」になりがち

Explatが重要視する時期

2017年

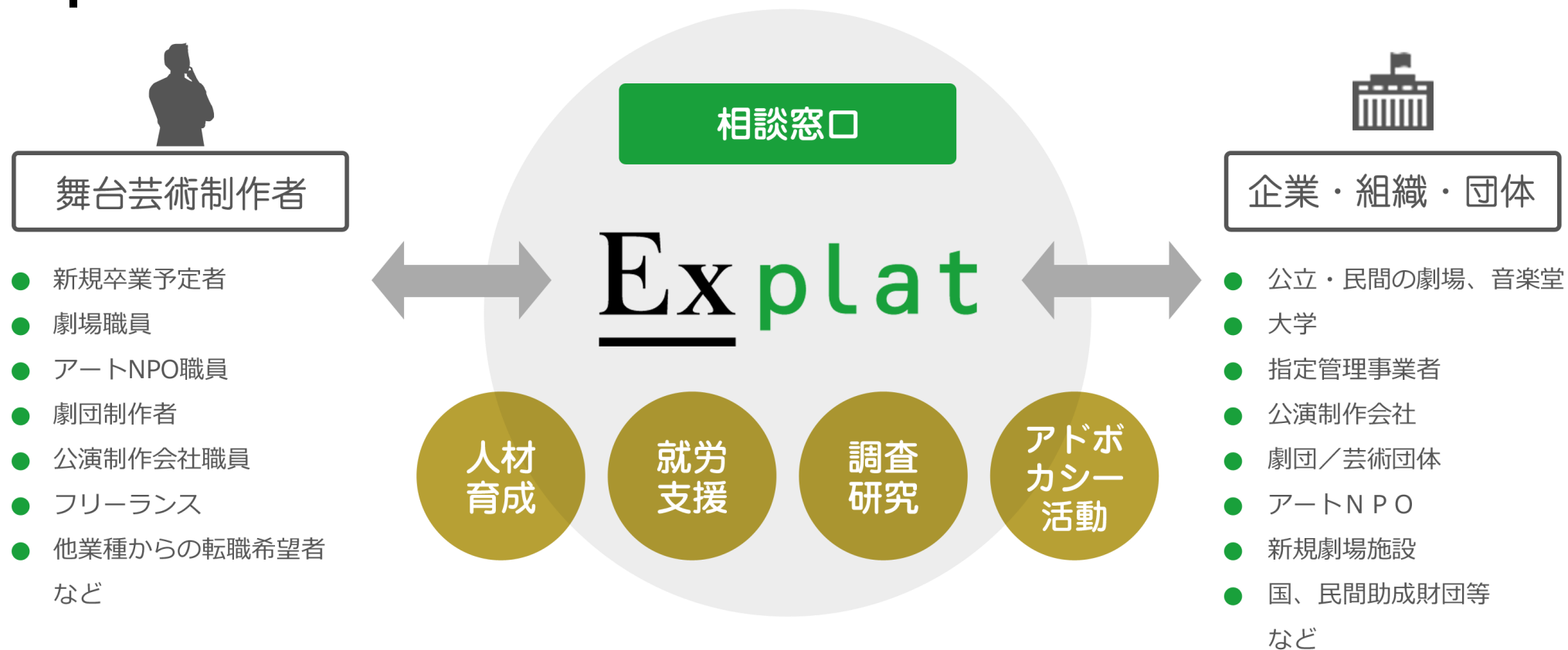
- ・ 2013年の改正労働契約法から5年を迎える年の前年
(雇止めの可能性)

2021年

- ・ 2020年オリンピック・パラリンピック以降
(全国規模の人材移動)

Explat

Explatの役割



経験豊富な制作者の流出を防ぎ、アートマネジメント専門職の社会的認知度とその役割の重要性を広く普及啓発することで、芸術活動全体の活性化を図り、文化芸術の進展と社会全体の利益の増進に寄与することがExplatのミッションです。

Explatの主な活動

就労支援

- 求人／求職情報の提供
- 劇場新設等、新規人材募集の情報収集と提供
- 学生への劇場等のインターンシップ紹介
- ファースト・キャリアへ向けた就労スキル訓練

人材育成

- 公共劇場等へのインターンシッププログラムの提案
- 在職者への専門スキルアップ研修
- 在職者への一般ビジネススキル研修
- 講座、シンポジウム等情報の収集と提供

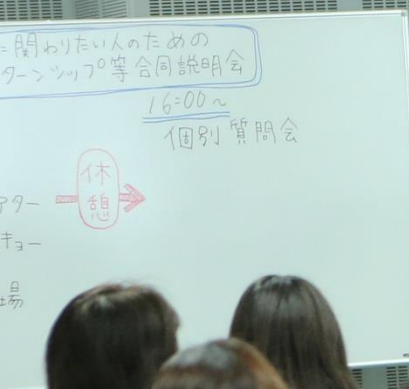
調査研究、その他

- 個別の雇用問題への相談窓口
- 劇場新設先への運営組織案や雇用環境案の提供
- 舞台芸術雇用環境の調査、研究
- 舞台芸術雇用環境に関する、様々な団体の既存の調査結果の紹介
- アドボカシー活動

舞台芸術に関わりたい人のためのインターンシップ等 合同説明会（2015年4月実施）

【参加団体】

あうるすぽっと（インターン）
世田谷パブリックシアター（インターン）
フェスティバル/トーキョー（インターン）
KAAT 神奈川芸術劇場（インターン）
座・高円寺（劇場創造アカデミー）
東京芸術劇場（プロフェッショナル人材養成研修）



Next舞台制作塾EX

Explat × Next舞台制作塾の合同プロジェクト

第1弾：「舞台芸術制作者になるため、続けるための実践型アーツマネジメント@大阪」



Explat

役員

理事長

植松侑子（フリーランス舞台芸術制作）

副理事長

藤原顕太（有限会社ネビュラエクストラサポート（Next））

理事

荻原康子（公益社団法人企業メセナ協議会 事務局長）

片山泰輔（静岡文化芸術大学教授・大学院文化政策研究科長）

川合貴之（川合貴之税理士事務所 代表）

郡山幹生（有限会社ネビュラエクストラサポート（Next）代表取締役社長）

中川歩美（あうるすぽっと【豊島区立舞台芸術交流センター】）

蓮池奈緒子（特定非営利活動法人アートネットワーク・ジャパン 理事長）

弓倉京平（弁護士法人ベリーベスト法律事務所）

綿江彰禅（野村総合研究所 主任コンサルタント）

監事

曾田修司（跡見学園女子大学マネジメント学部 教授）

発起人

岸正人（あうるすぽっと【豊島区立舞台芸術交流センター】支配人）、蓮池奈緒子

Explat

ロゴタイプ

Explat

このプラットフォームに関わるひとりひとりがエキスパートであること、または、それを目指す人間であること。

その信念、目標として「Expert」の「Ex」を強調しています。

またそのプラットフォームはより多くの人に開かれたものであり、様々な形で数多の人間が交差するコミュニケーションの場であり、新たな刺激を受ける場として、「platform」の略語「plat」に、共存する場、互いの成長を促す場のイメージを込めました。

舞台芸術の未来を担う力強いエキスパートを永続的に輩出出来る環境づくりをめざし、個の強い信念とコミュニケーションによる成長を表現したロゴタイプです。

デザイン：柳沼 博雅氏（株式会社GOAT）